

謎多き渡り鳥

コクガン研究の最前線、南三陸へ

そうです。私がコクガンです。



特徴的な白い首輪

主食は海藻

実は〇〇〇から渡ってくる!!

全町民必見!! 必聴!?

最新の研究成果を公開

知らなかったコクガンの世界

志津川湾ラムサール条約湿地登録の
決め手のひとつとなったコクガン

2019 **11.21** (木) 19:00 - 20:30 [18:30 開場]

会場 **南三陸町生涯学習センター**

[南三陸町志津川字新井田 165 番地 1] **大研修室にて**

参加費 **入場無料** 主催：南三陸ネイチャーセンター友の会

講師

公益財団法人 宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団
総括研究員 **嶋田哲郎** (しまだ てつお)

学生時代からマガンを始めとするガンカモ類を中心とした水鳥の研究を行い、特に渡り鳥の生態に精通している。水鳥の研究ほか、伊豆沼・内沼の自然再生、ブラックバスなどの外来魚駆除や環境教育などに取り組んでいる。

南三陸町ではわりと身近な鳥、コクガン。

でも、その暮らし振りは謎だらけ。

どこから渡ってくるの？

どんなコースで渡ってくるの？

どんなところで子育てしてるの？

昔からこんなにいっぱいいたっけ？



11月の南三陸自然史講座では、伊豆沼・内沼環境保全財団でガン・カモ類の調査研究をされている嶋田哲郎博士に、衛星追跡型の発信機を用いた国際的な渡りの調査など、最新の研究成果にもとづくコクガンの最新情報と、志津川湾でこの冬に計画されている、新たなコクガン調査の概要についてお話しいただきます。

この冬、志津川湾を訪れるコクガンたちがより身近に、愛おしく感じられるようになるのではと思います。

ぜひご参加ください!